# 財務諸表に対する注記

１．継続組織の前提に関する注記
該当なし。

２．重要な会計方針
（１）固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却の方法は、定額法による。
（２）引当金の計上基準
役員退職慰労引当金
役員の退職慰労金の支給に備えるため、事業年度末における要支給額を計上している。
賞与引当金
職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額の当該事業年度負担額を計上している。
退職給付引当金
職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
（３）消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式による。

３．会計方針の変更
該当なし。

４．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 （単位：円）

| 科　目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 普通預金 | 760,750 | 0 | 0 | 760,750 |
| 土地 | 346,265,750 | 0 | 0 | 346,265,750 |
| 特定資産 | | | | |
| 建物 | 832,855,108 | 0 | 50,465,873 | 782,389,235 |
| 建物附属設備 | 3,351,043 | 2,032,800 | 1,167,314 | 4,216,529 |
| 構築物 | 23,013,593 | 0 | 4,392,576 | 18,621,017 |
| 機械装置 | 346,207,282 | 46,287,230 | 91,329,296 | 301,165,216 |
| 什器備品 | 40,441,479 | 45,613,085 | 21,537,116 | 64,517,448 |
| 水道施設利用権 | 438,906 | 0 | 114,234 | 324,672 |
| 車両運搬具 | 636,721 | 0 | 636,720 | 1 |
| リース資産 | 10,773,000 | 0 | 2,268,000 | 8,505,000 |
| 機器点検・ﾒﾝﾃﾅﾝｽ費用等準備資金積立資産 | 40,000,000 | 20,000,000 | 60,000,000 | 0 |
| 役員退職慰労引当金積立資産 | 30,878,778 | 2,424,242 | 4,969,692 | 28,333,328 |
| 退職給付引当金積立資産 | 39,566,325 | 11,389,033 | 3,363,634 | 47,591,724 |
| 設備更新・導入費用準備金積立資産 | 474,527,569 | 84,128,619 | 36,957,470 | 521,698,718 |
| 合　計 | 2,189,716,304 | 211,875,009 | 277,201,925 | 2,124,389,388 |

５．基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 （単位：円）

| 科　目 | 当期末残高 | （うち指定正味財産からの充当額） | （うち一般正味財産からの充当額） | （うち負債に対応する額） |
|---|---|---|---|---|
| 基本財産 | | | | |
| 普通預金 | 760,750 | （ 760,750） | （ 0） | （ 0） |
| 土地 | 346,265,750 | （ 19,239,250） | （ 327,026,500） | （ 0） |
| 特定資産 | | | | |
| 建物 | 782,389,235 | （ 779,630,448） | （ 2,758,787） | （ 0） |
| 建物附属設備 | 4,216,529 | （ 0） | （ 4,216,529） | （ 0） |
| 構築物 | 18,621,017 | （ 10,400,630） | （ 8,220,387） | （ 0） |
| 機械装置 | 301,165,216 | （ 17） | （ 279,457,799） | （ 21,707,400） |
| 什器備品 | 64,517,448 | （ 75,423） | （ 64,442,025） | （ 0） |
| 水道施設利用権 | 324,672 | （ 1） | （ 324,671） | （ 0） |
| 車両運搬具 | 1 | （ 0） | （ 1） | （ 0） |
| リース資産 | 8,505,000 | （ 0） | （ 0） | （ 8,505,000） |
| 機器点検・ﾒﾝﾃﾅﾝｽ費用等準備資金積立資産 | 0 | （ 0） | （ 0） | （ 0） |
| 役員退職慰労引当金積立資産 | 28,333,328 | （ 0） | （ 0） | （ 28,333,328） |
| 退職給付引当金積立資産 | 47,591,724 | （ 0） | （ 0） | （ 47,591,724） |
| 設備更新・導入費用準備金積立資産 | 521,698,718 | （ 0） | （ 521,698,718） | （ 0） |
| 合　計 | 2,124,389,388 | （ 810,106,519） | （ 1,208,145,417） | （ 106,137,452） |

６．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。　（単位：円）

| 科　目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---|---|---|---|
| 建物 | 1,737,571,629 | 955,182,394 | 782,389,235 |
| 建物附属設備 | 6,194,100 | 1,977,571 | 4,216,529 |
| 構築物 | 269,099,346 | 250,478,329 | 18,621,017 |
| 機械装置 | 2,716,076,785 | 2,414,911,569 | 301,165,216 |
| 什器備品 | 445,455,766 | 380,938,318 | 64,517,448 |
| 水道施設利用権 | 2,181,500 | 1,856,828 | 324,672 |
| ソフトウェア | 882,000 | 882,000 | 0 |
| 車両運搬具 | 3,820,300 | 3,820,299 | 1 |
| リース資産 | 11,340,000 | 2,835,000 | 8,505,000 |
| 合　計 | 5,192,621,426 | 4,012,882,308 | 1,179,739,118 |

７．債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。　（単位：円）

| 科　目 | 債権金額 | 貸倒引当金の当期末残高 | 債権の当期末残高 |
|---|---|---|---|
| 未収金 | 200,442,630 | 0 | 200,442,630 |
| 合　計 | 200,442,630 | 0 | 200,442,630 |

８．保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし。

９．基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし。

１０．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

| 内　容 | 金　額 |
|---|---|
| 経常収益への振替額 | |
| 基本財産受取利息 | 10,335 |
| 減価償却費等計上による振替額 | 53,115,618 |
| 合　計 | 53,125,953 |

１１．関連当事者との取引の内容

該当なし。

１２．キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし。

１３．重要な後発事象

該当なし。